

講義・演習概要（シラバス）

政策専門課程第9期（平成26年7月23日～8月8日）

課 目 名	今後の地方税財政改革の展望
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	東京大学名誉教授 神野 直彦 <プロフィール> 1969年 東京大学経済学部卒業 1969年 日産自動車株式会社入社 1981年 東京大学大学院博士課程修了 1983年 大阪市立大学経済学部助教授 1992年 東京大学経済学部教授 2003年 東京大学大学院経済学研究科長・経済学部長 2008年 総務省地方財政審議会会長
ね ら い	この講義では現在、進行しつつある地方税財政改革の意義を理解するために、必要な地方財政および政府間財政関係の基礎知識を学ぶことを目的としている。基礎知識を学ぶということは単に知識の集合を取得するということではない。知識を秩序立てて構造化し、「生きる」ということと結びつけることである。それは現在、進行しつつある地方税財政改革にどのように立ち向えばよいかを考えることでもある。
講 義 概 要	今年度の「骨太方針」にスポットを当てながら、法人税の実務税率の引き下げ問題や地方財政改革の推進など、地方税財政を巡る状況を概観する。もちろん、新しいフェーズで進められようとしている地方分権改革も視野に取り入れていく。 その上で政府間財政関係および地方財政の理論を、改革との関係を念頭に体系的に整理する。 最後に歴史の潮の変わり目で、未来への舵取りを間違えないように、地方税財政改革を通して、人間社会のヴィジョンを構想したい。
受講上の注意	特になし
使 用 教 材	特になし
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし